

令和5年度 保土ヶ谷区区民意識調査結果 概要版

調査対象	区内在住 18 歳以上の方 4,000 人(外国籍区民含む)	抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送、郵送又はインターネットによる回答	調査期間	令和5年6月12日～6月26日
回収結果	1,714 票(回収率:42.9%)		

百分率は、その設問の回答者数を件数として算出しているため、複数回答の設問の場合、100%を超える場合があります。また、小数点以下第2位を四捨五入として算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 区の魅力づくり

これからのまちの魅力づくりに期待することは何ですか。

報告書 P10

- ・「自然を感じることができるスペースの創出」が最も多く、次いで「安心して子育てできる環境の充実」、「多世代が集まり交流できる場づくり」と続く。

n=1,714(複数回答)

1	自然を感じることができるスペースの創出	62.4%
2	安心して子育てできる環境の充実	45.7%
3	多世代が集まり交流できる場づくり	43.9%
4	工場跡地等、地域の歴史が感じられる空間づくり	22.1%
5	日本人・外国人を問わず文化の多様性が感じられる住環境づくり	21.0%

区の歴史的スポットに触れることができる取組として、興味を持つものはどれですか。

報告書 P13

- ・「歴史的スポットを巡るイベント(まちあるきなど)」(42.2%)が最も多く、次いで「保土ヶ谷の歴史を紹介するコラムの連載」(27.4%)、「若年層に向けた取組(小学校への出前教室など)」(22.8%)と続く。

2 市の行政サービス

- ・市の行政サービスの中で満足しているサービスはどれですか。
- ・今後、充実してほしいと思うサービスはどれですか。

報告書 P14

- ・『満足しているサービス』は、「バスや電車の利便性」が最も多い。
- ・『今後、充実してほしいと思うサービス』は、「最寄り駅周辺のまちづくり」が最も多い。

[満足しているサービス] n=1,714(複数回答)

1	バスや電車の利便性	56.6%
2	公園・広場の整備	37.7%
3	ごみ対策(分別収集・街の美化)や地球温暖化対策	32.3%
4	緑地や水辺環境の整備	24.3%
5	最寄り駅周辺のまちづくり	22.1%

[今後、充実してほしいと思うサービス] n=1,714(複数回答)

1	最寄り駅周辺のまちづくり	45.4%
2	商店街や産業振興など地域経済の活性化	44.9%
3	高齢者への福祉サービス	40.4%
4	道路環境の整備	39.4%
5	防災・災害対策	38.0%

3 定住意向

これからもずっと保土ヶ谷区に住み続けたいと思いますか。

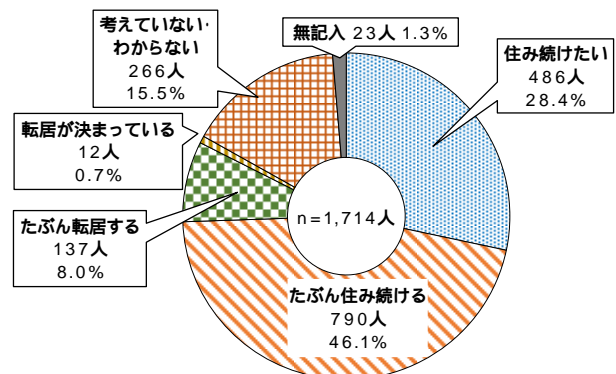
報告書 P24

- ・「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせた7割以上が定住意向を持っている。

保土ヶ谷区を居住地に選んだ理由は何ですか。

報告書 P23

- ・「交通の便が良いから」(32.1%)が最も多く、次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」(30.4%)が多い。

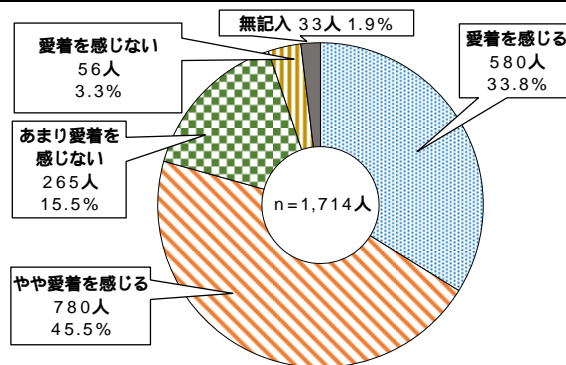


4 区への愛着

どのくらい保土ヶ谷区に愛着を感じていますか。

報告書 P27

- ・ 「愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせた約8割が愛着を感じている。



5 隣近所との付き合い方

- ・ 日頃、隣近所の方とどのような付き合い方をしていますか。

- ・ 今後の理想として、隣近所の方とどのような付き合い方をしていきたいですか。

報告書 P29

- ・ 『日頃の付き合い方』は、「挨拶だけする程度」が最も多い。

- ・ 『理想の付き合い方』は、「困ったときはいつも相談したり、お互いに助け合ったりする」が最も多い。

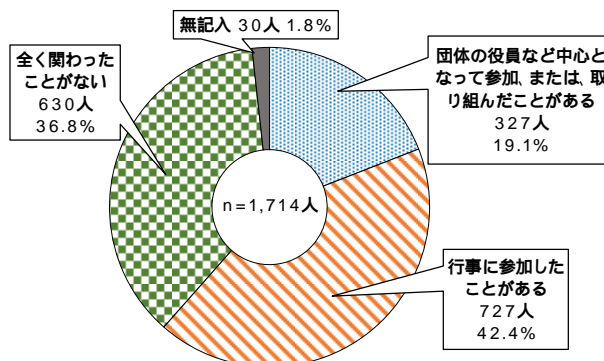
【日頃の付き合い方】		n=1,714	【理想の付き合い方】		n=1,714
1	挨拶だけする程度	42.2%	1	困ったときはいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	30.7%
2	見かけたら世間話や立ち話をする	23.5%	2	見かけたら世間話や立ち話をする	23.0%
3	気のあった人と親しくしている	16.8%	3	挨拶だけする程度	22.2%
4	顔もよく知らず、つながりもない	7.2%	4	気のあった人と親しくしている	16.7%
5	困ったときはいつも相談したり、お互いに助け合ったりする	6.9%	5	顔もよく知らず、つながりもない	2.2%
6	挨拶はしないが、顔は知っている	2.2%	6	挨拶はしないが、顔は知っている	0.9%

6 地域活動

地域で行われる何らかの地域活動に関わったことがありますか。

報告書 P33

- ・ 「行事に参加したことがある」が最も多い。
- ・ 40代以下の年代では、「全く関わったことがない」が最も多く、50代以上の年代では「行事に参加したことがある」が最も多い。



・「お祭り・運動会など住民同士の交流イベント」が最も多く、次いで「スポーツや健康づくりに関する活動」、「ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動」と続く。

n=1,714 (複数回答)

1	お祭り・運動会など住民同士の交流イベント	28.9%
2	スポーツや健康づくりに関する活動	25.0%
3	ごみ拾い・花の手入れなどの美化活動	24.7%
4	文化・芸術などを楽しむサークル活動	21.4%
5	地域で気軽に集まれる居場所づくり	21.2%

より多くの方が地域活動に参加できるようにするためには、何が必要だと思いますか。報告書 P 41

・「初めての方が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)」が最も多く、次いで「一緒に活動する仲間がいる」、「誘ってくれる人がいる」と続く。

n=1,714 (複数回答)

1	初めての方が参加しやすい工夫がある(体験会や同じ境遇の人がいるなど)	39.1%
2	一緒に活動する仲間がいる	35.8%
3	誘ってくれる人がいる	27.1%
4	活動内容や場所などを事前に知ることができる	25.3%
5	趣味や特技を生かせる	18.5%

7 自治会町内会

・自治会町内会が行っている活動で知っているものはどれですか。

・自治会町内会に期待するものはどれですか。

報告書 P 44

・『知っている活動』は、「ごみ集積場所の管理や公園の清掃」が最も多い。

・『期待する活動』としては、「防犯・防火パトロール」が最も多い。

[知っている活動] n=1,714 (複数回答)

1	ごみ集積場所の管理や公園の清掃	66.2%
2	夏祭りや運動会、文化祭などの地域行事の実施	63.7%
3	古紙・古布や缶・びんの回収	63.0%
4	掲示板へのポスター・チラシ掲出や回覧板を使った広報活動	62.5%
5	共同募金・年末たすけあい募金等の活動	56.0%

[期待する活動] n=1,714 (複数回答)

1	防犯・防火パトロール	33.5%
2	防災訓練や発災時の避難所の運営	31.7%
3	ごみ集積場所の管理や公園の清掃	27.9%
4	高齢者への配食サービスや訪問による見守り	26.6%
5	児童・生徒の登下校等の見守り	24.3%

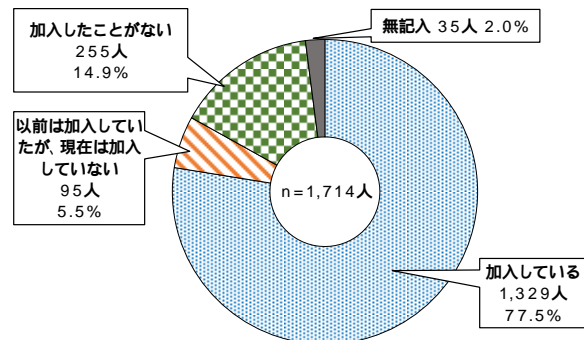
自治会町内会に加入していますか。

報告書 P 46

・「加入している」は約8割。

・年齢が高くなるほど加入率も高くなるが、40代以下の年代では加入したことがない割合も高い。

[参考] 区内の自治会町内会加入率: 69.9% (令和5年4月1日時点)



自治会町内会に加入していない理由は何ですか。

報告書 P 48

・「加入するメリットがわからない」が最も多く、次いで「勧誘されていない」や「班長や役員をやりたくない」と続く。

n=350 (複数回答)

1	加入するメリットがわからない	33.4%
2	勧誘されていない	26.9%
3	班長や役員をやりたくない	22.9%
4	人付き合いが苦手	19.7%
5	休日や夜間の活動が忙しそう(忙しかった)	18.3%

・「総会・役員会等の会議への出席」が最も多く、次いで「自治会町内会費や共同募金等の集金」と続く。

n=1,714 (複数回答)

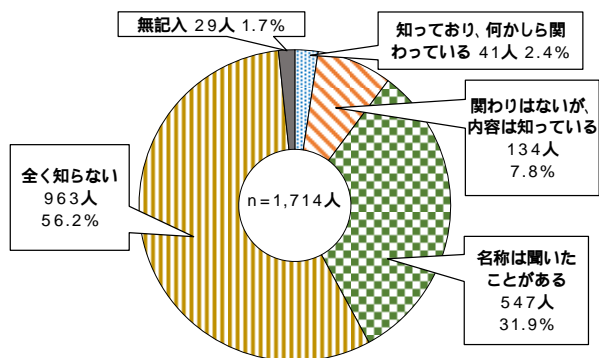
1	総会・役員会等の会議への出席	56.0%
2	自治会町内会費や共同募金等の集金	30.3%
3	夏祭りや運動会、文化祭など地域行事への参加	29.6%
4	特にない	15.8%
5	回覧板の仕分けや掲示板へのポスター・チラシ掲出	15.1%

8 福祉・健康づくり

「保土ヶ谷ほとなまちづくり(保土ヶ谷区地域福祉保健計画)」を知っていますか。

報告書 P51

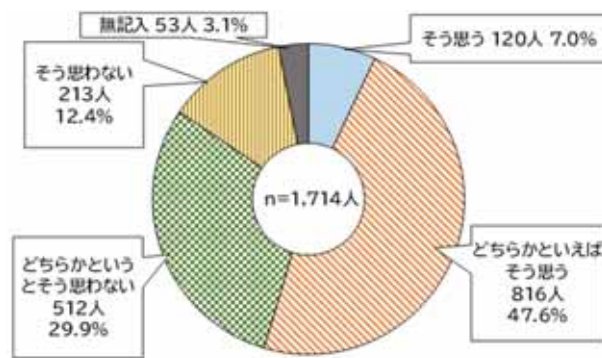
・「知っており、何かしら関わっている」、「関わりはないが、内容は知っている」、「名称は聞いたことがある」を合わせた認知度は約4割、「全く知らない」が約6割となっている。



住んでいる地域は、高齢者や障害者、子どもなどが「つながり支えあい、安心していきいきと暮らせる」地域だと思いますか。

報告書 P52

・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた5割以上が「つながり支え合い、安心していきいきと暮らせる」地域だと感じている。



健康づくりに関する情報のうち、知りたいと思う情報はどれですか。

報告書 P54

・「運動ができる施設や場所」が最も多く、次いで「年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法」と続く。

n=1,714 (複数回答)

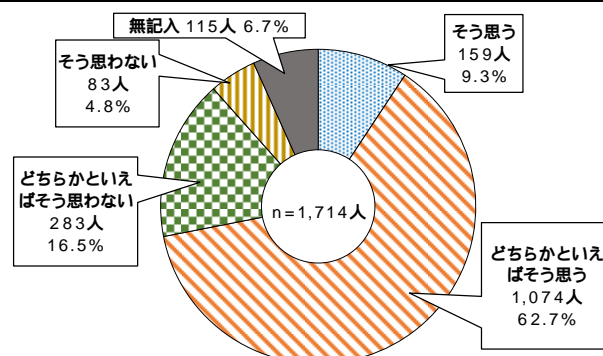
1	運動ができる施設や場所	43.8%
2	年齢や自分のからだにふさわしい運動の種類や方法	38.0%
3	食事や栄養の知識・工夫	21.5%
4	生活習慣病予防について	17.3%
5	地域で実施している健康イベントや講座	16.5%

9 子ども・子育て

保土ヶ谷区は、「安心して子育てできるまち」だと思いますか。

報告書 P71

・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた7割以上が「安心して子育てできるまち」だと感じている。



子育てをする上で、特に必要なことは何だと思いますか。

報告書 P73

- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が最も多く、次いで「必要な時に子どもを預かってくれる場があること」と続く。

n=1,714(複数回答)

1	親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	38.9%
2	必要な時に子どもを預かってくれる場があること	35.8%
3	隣近所が子育てに好意的で理解があること	35.2%
4	家の近くに遊び場があること	34.1%
5	親族以外にも身近な相談相手がいること	33.6%

近所の子育てをしている家庭に、どのような協力(行動、声掛け)ができますか。

報告書 P76

- ・「道でみかけたら挨拶をする」が最も多く、次いで「子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する」と続く。

n=1,714(複数回答)

1	道でみかけたら挨拶をする	56.9%
2	子どもの泣き声や生活音に対して寛容に接する	51.7%
3	公共交通機関(バスや電車)であたたかく接する	39.5%
4	荷物やベビーカーと一緒に運ぶ	17.7%
5	子どもをあやしたり、話しかけたりする	16.3%

10 防災・減災対策

居住地区の地域防災拠点の場所を知っていますか。

報告書 P81

- ・「知っている」が約7割(70.6%)、「知らない」が約3割(26.8%)となっている。

日ごろから災害に備えるために、知りたい情報はどれですか。

報告書 P83

- ・「地震発生時の避難行動・避難場所」が最も多く、次いで「家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)」と続く。

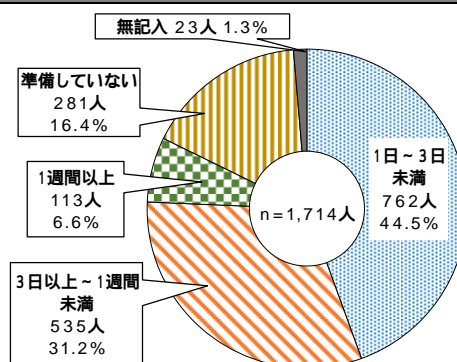
【災害に備えるために、知りたい情報】 n=1,714(複数回答)

1	地震発生時の避難行動・避難場所	46.2%
2	家庭でできる自助の取組(備蓄や家の中の安全対策等)	43.1%
3	災害時の医療体制	33.0%
4	災害時の情報収集ツール	31.3%
5	風水害発生時の避難行動・避難場所	21.6%

災害に備えて何日分の食料と飲料水を準備していますか。

報告書 P85

- ・「1日～3日未満」が最も多く、次いで「3日以上～1週間未満」、「1週間以上」と続く。



過去5年間で、防災に関する訓練や研修会などに参加したことがありますか。

報告書 P86

- ・「何も参加したことがない」(63.1%)が最も多く、参加したことの活動では「自治会・町内会の防災訓練・研修・講習会」(25.6%)が最も多い。

・「家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)」が最も多く、次いで「何もしていない」が続く。

n=1,714(複数回答)

1	家具の転倒防止器具の取付(家具の固定)	45.2%
2	何もしていない	29.9%
3	ヘルメット等の身を守る防災グッズの購入	22.5%
4	食器棚等の引き戸への開閉防止器具の設置	20.6%
5	電気火災を防止するための感震ブレーカーの設置	13.1%

11 花と緑・脱炭素

「花と緑のあふれる魅力ある街」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。

報告書 P 9 2

・「駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている」が最も多く、次いで「気軽に花や緑に触れ合える機会が増える」と続く。

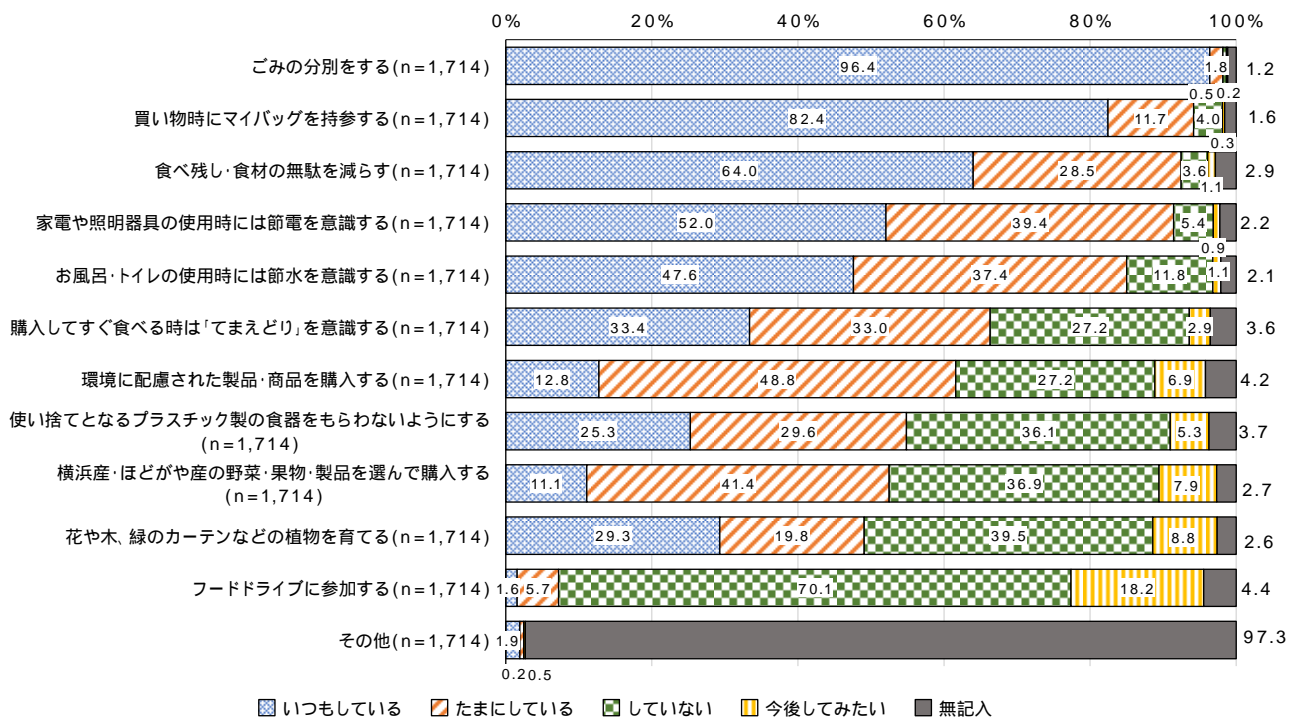
n=1,714(複数回答)

1	駅や公園、区民利用施設等における花や緑による空間づくりが行われている	53.8%
2	気軽に花や緑に触れ合える機会が増える	44.5%
3	花や緑に囲まれ、誰もが気軽に利用でき、地域のシンボルとなる憩いの場がある	38.5%
4	「ほどがや花フェスタ」のような花や緑をテーマにした区民参加型のイベント等が実施されている	29.9%
5	自宅など身近な場所で花や緑を育てることができる	16.9%

環境に配慮した行動について、どの程度取り組んでいますか。

報告書 P 9 4

・「いつもしている」が最も多いのは、『ごみの分別をする』、『買い物時にマイバックを持参する』、『食べ残し・食材の無駄を減らす』、『家電や照明器具の使用時には節電を意識する』など。



12 区制100周年に対する思い

保土ケ谷区が令和9年(2027年)に区制100周年を迎えることを知っていますか。 報告書P98

- ・「知っている」(21.7%)が約2割、「知らない」(77.2%)が約8割となっている。

次の100年にも残したいと思う保土ケ谷区の魅力は何ですか。

報告書P99

- ・「緑豊かな自然を感じられる環境」が性別、年代を問わず突出して最も多く、次いで「活気のある商店街」、「歴史や遺産を感じられる街並み」と続く。

n=1,714(複数回答)

1	緑豊かな自然を感じられる環境	78.9%
2	活気のある商店街	36.6%
3	歴史や遺産を感じられる街並み	36.4%
4	都市農業・ほどがや産野菜の充実	20.4%
5	住民の保土ケ谷区に対する愛着	14.9%

区制100周年に向けた取組として、期待するものは何ですか。

報告書P101

- ・「子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施」が最も多い。

n=1,714(複数回答)

1	子どもから大人まで気軽に参加でき、地域との新たなつながりができるイベントの実施	26.3%
2	保土ケ谷の歴史や文化に触れることができるイベントの実施(まちあるきなど)	26.2%
3	100周年を迎えた後も地域に愛され長く根付くような地域活動の創出	22.9%
4	写真や映像などで保土ケ谷の魅力を再発見できるイベントの実施(フォトコンテストなど)	20.7%
5	イベントや記念品といった特別なものは望まない	18.3%

13 デジタル活用

スマートフォンを持っていますか。

報告書P103

- ・「持っている」(89.9%)が約9割、「持っていない」(8.3%)が約1割となっている。

- ・スマートフォンの現在、使用している機能は何ですか。

- ・今後、使用してみたいと思う機能は何ですか。

報告書P104

- ・『使用してみたい機能』は、「電子申請による行政手続き等」が最も多い。

【使用している機能】

n=1,714(複数回答)

1	電話・通話	95.7%
2	写真・動画撮影	89.0%
3	電子メールによるメッセージの送受信	88.8%
4	インターネット検索・情報収集	86.3%
5	地図・乗換案内・タクシーアプリ	75.7%

【今後、使用してみたいと思う機能】

n=1,714(複数回答)

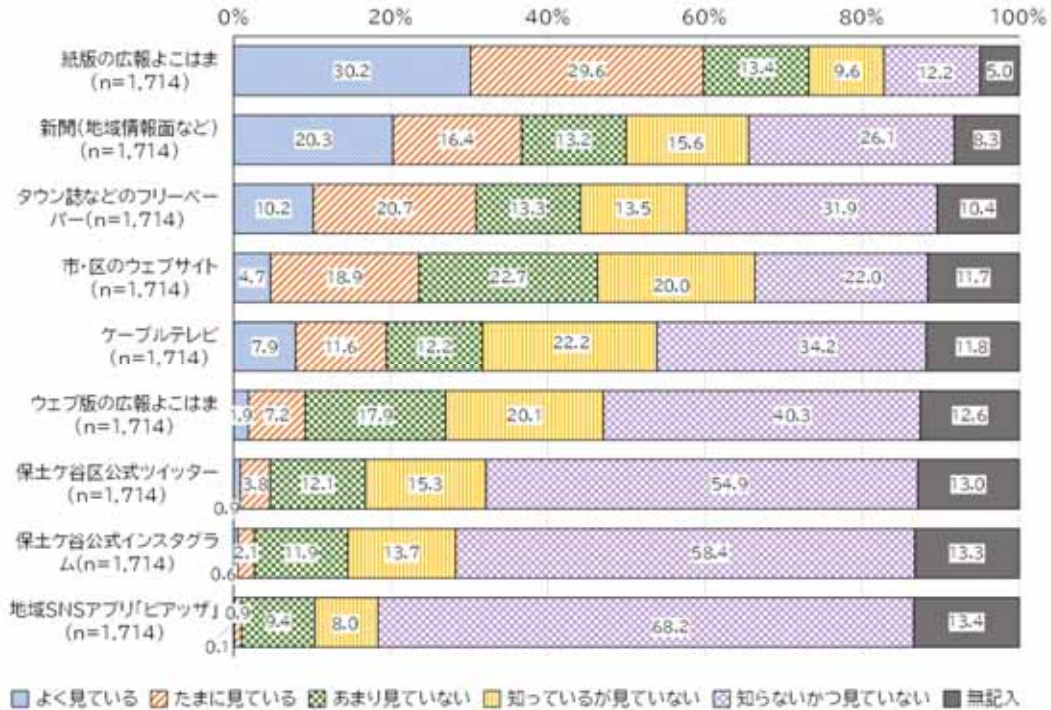
1	電子申請による行政手続き等	34.7%
2	地図・乗換案内・タクシーアプリ	21.7%
3	支払い・決済	18.7%
4	ネットショッピング	15.7%
5	アプリ等を用いたオンライン会議 (Zoom・Google Meetなど)	15.3%

14 区の広報

市役所や区役所の情報入手するとき、次の媒体をそれぞれどのくらい見えていますか。

報告書 P106

- ・「よく見ている」と「たまに見ている」の合計が最も多いのは『紙版の広報よこはま』となっている。



区ホームページには、調査報告書の全文を掲載しています。
左のQRコードを読み込んでいただくか、
「保土ヶ谷区 区民意識調査」で検索してください。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/tokei/ishiki/ishiki-r05.html>

発行:横浜市保土ヶ谷区役所区政推進課企画調整係
電話 045-334-6227 FAX 045-333-7945